

# 豊見城の王様 わんおうそ

ハーリー由来物語

豊見城の王様

わんおうそ ハーリー由来物語



これは遠い昔、私たちの沖縄が  
「琉球」と呼ばれていた頃  
とみぐすく  
豊見城をこよなく愛した王様のお話です。



～時は1390年代後半～

とみぐすく 豊見城で「わんおうそ」ここでの、

げんき 元気な青年がいました。

かれ 彼は、頭も良べ、真面目で、

とくもよべ働く、人気者でした。



わんおうそと仲間達は、

なかまたち

あさやかから夜遅くまで、一生けんめい働きました。

といひのが、豊見城では雨が少なく、

お米や野菜などの作物が中々育ちません。

そのため、村人達の暮らしは、

よくなりませんでした。



ある日、琉球の王様は、  
『海を渡った隣の国、中国へ留学し、  
いろいろな事を学ぶことができなさい。』  
と、わんおつせに命じました。



りゅうきゅう おうさま なんさんあう ウフザト  
\*琉球の王様=南山王・承察度



中国へ渡った、わんおつせは、  
広い野原、高い山々、  
大きな川に囲まれ、  
どうすればいいのか…  
遠いふるひとを想いながら、  
毎日勉強に励みました。

そんなある日、川辺に集まる、  
たぐさんの村人達に出会いました。

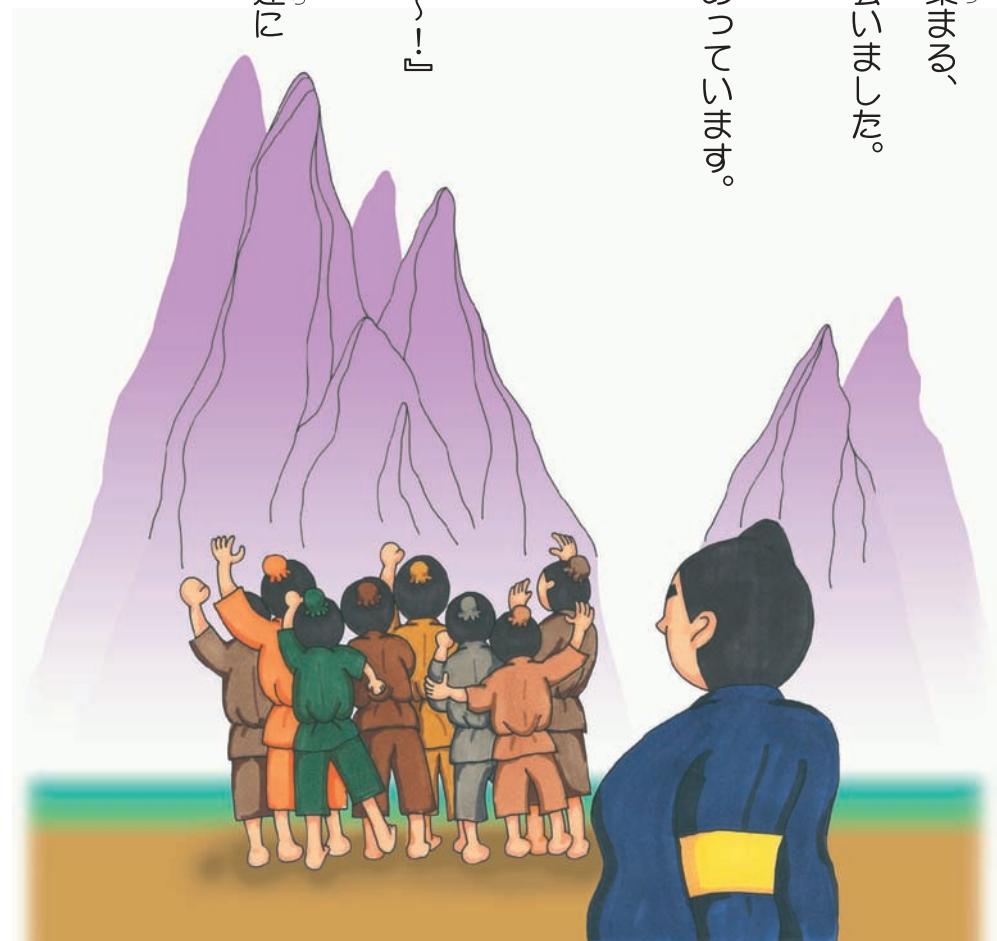
そして川の中では、  
龍の形をした舟が競いあっています。

『行け行けー!』

『負けるなー!』

『ガンバレー! ガンバレー!』

村人達は舟を漕ぐ若者達に  
声援を送っていました。



わんおうそが、初めて見る龍舟に立ち止つてみると

近くにいた村人が話しかけてきました。

『兄ちゃん! 龍舟見たのは、初めてかい?』

「はい…一体何をしてるのですか?」

『これは、龍舟の競争さー!』

『龍舟の競争は、雨が降りまよつじと、

\*龍神様にお祈りする儀式なんだよ』

わんおうそは、  
学校へ行く途中だった事も忘れ、  
村人達と一緒に、  
龍舟の競争を、  
夢中になつて応援しました。

そしー、じのくりこ

時間が経つたでしようか…

さきほど 先程まで晴天だつた空が、

だんだん薄暗くなり、

あまぐも 雨雲がやつてゐます。

(ぱつ、ぱつ、ぱつ…、

ザザザザー、ザザザザー)

『あー雨が降つてきたーー』

『わーいー恵みの雨だあー』

『わーいーわーいー龍神様、  
\*謝謝!』



\*謝謝=中国の言葉でありがとうという意味  
いみ

舟を漕ぐ若者達と、  
応援していた村人達は、  
恵みの雨を降りさせてくれた  
「龍神様」に感謝しています。

わんおうそむく  
皆と一緒に喜びました。



琉球に帰つてきたわんおうそは  
大好きな豊見城の村が見渡せる山に  
お城を造り、豊見城の王様となりました。



王様となつたわんおうそは、  
中国で学んできた事を村人達に教えたのですが、  
雨が降らない豊見城では、  
じついつに作物が育ちませぐ。



そこで、わんおうそは中国の出来事を思い出し、  
龍舟を漕いで、雨を降らす龍神様に捧げよつー。  
そして、たくさん作物が育ち、  
平和で豊かに暮らせるよう、  
皆でお祈りをしよつて。  
と、考えました。

間もなく村人達は、龍の形をした爬龍船を作り、  
のは川(漫湖)に浮かべて、  
龍神様へ\*雨乞いの儀式を行いました。

すねじ空がだんだん薄暗くなり、  
雨雲がやつて来た。

(ぱつ、ぱつ、ぱつ…、

ザザザマーラー、ザザザマーラー)

『あツー・本当に雨が降りてきたわ～』  
『龍神様、ばんざ～～これで、  
たくさんの作物が作れるさ～』

『まくらの王様なり、  
平和な世の中にしてくれるわよ～』

こうして豊見城の村人達は、  
年に一回、爬龍船を漕いで、  
王様と村人達は大喜び。

『雨が降り、作物がたくわん  
採れますよ～…』

と、龍神様にお祈りをあげようとい  
なりました。

やがて、豊見城の枯れた土地は、  
作物が採れる緑豊かな土地となり  
ました。村人達の暮らしは良くなっています。



\*雨乞い=雨が降りますように祈る事

## 豊見城龍船資料



**豊見城ハーリー歌**

作詞  
国指定重要無形文化財琉球古典音楽保持者  
照喜名 朝一

一、今日の吉日に 汪応祖しぬでヨー  
ハーリー豊見城ヘンサーヨ  
エーイ嘉利ゆさは乗せてヨー  
漕る嬉しやヨー

ハーリー豊見城ヘンサーヨ

二、なぎの潮水に 権肝すらーちヨー  
ハーリー豊見城ヘンサーヨ  
エーイ漕ぎ出する船のヨー  
ハーリー走るが美らさ

ハーリー豊見城ヘンサーヨ

三、船端雑子や 打ち鳴らし鳴らしヨー  
ハーリー豊見城ヘンサーヨ  
エーイ御万人と共にヨー  
ハーリー世界報御願



- 1 とよみ大橋【飛龍橋側】に建立されたハーリーの像
- 2 600年の時を経て再び餽波川に戻ってきた龍船
- 3 とよみ大橋【豊見城側】に建立されたハーリー歌の石碑
- 4 豊見瀬ウタキにてユガフー祈願をする際に供えられる供え物
- 5 600年ぶりに再現された龍船。餽波川での進水式
- 6 豊見城城跡公園内にあるハーリー発祥の地を記す石碑
- 7 汪応祖が初めて龍船を浮かべたとされる餽波川と豊見城城跡(右上)

～おしゃまいく～

この音が聞こえてくると、  
**わんおうそむ**  
とても喜んでいる事でしょうね。



\*ハーリー=爬龍(水を爬いて進むという意味)の漢語音に由来していると言われています

とみくさく おのきま  
**豊見城の王様わんおうそむ**が、  
はじめて浮かべた爬龍船は、  
その後、琉球の各地へと広がり、  
「ハーリー」と呼ばれるようになります。  
\*ハーリー」と呼ばれるようになります。



☆夏になると豊見城ハーリー大会が開催されるヨ♪  
体験試乗会があるので、みんなでハーリーを漕いでみよう！

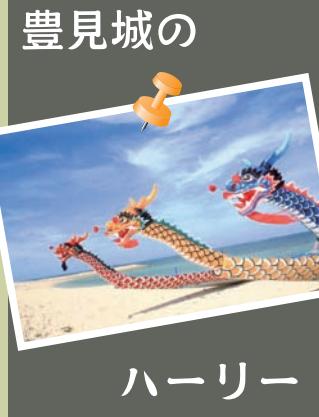


お問い合わせ  
豊見城龍船協会  
☎090-8291-4909  
【赤嶺】

☆琉球王府が1745年に編集した正史『球陽』巻一附記（龍舟競渡説）や、1713年に編集した『琉球国由来記』巻十二（豊見城闇切）に記述、『豊見城村史』九巻などに、汪応祖や龍船について記述されています。これらの本は、豊見城市立中央図書館にあるので調べてみよう！



お問い合わせ  
豊見城市立中央図書館  
☎098-856-6006



豊見城の  
ハーリー



☆毎年夏休みの時期に豊見城市商工会青年部が児童絵画コンクールを開催！豊見城市内小学校のお友達の絵を募集するヨ♪  
テーマは『我がまち豊見城』夏休みに見たり体験したりした豊見城のハーリーの絵を描いて応募してみよう！



お問い合わせ  
豊見城市商工会青年部  
☎098-850-2060

☆毎年5月の始め、豊見城城址公園内の豊見瀬ウタキにて、『豊見城ハーリー由来まつり』が開催されているヨ♪  
字豊見城・字真玉橋・字嘉敷字根差部の地域の皆様と那覇ハーリー振興会の皆様で、ハーリー安全祈願と



お問い合わせ  
豊見城龍船協会  
☎090-8291-4909  
【赤嶺】



景福祈願を行っています。  
お供えした神酒、ポーポーマーミナースネ、あまがしをウサンティーで貰えるヨ！  
皆で見に行ってみよう♪

## 豊見城の王様わんおうそ ～ハーリー由来物語～

青年部まちづくり有志の会 代表

大田正樹

『皆さん、豊見城市が好きですか?』さしつかけは、商工会青年部員同士の会話からでした。この単純な問い合わせに各々が、人が好き、自然が好き、生まれ育った場所だから好き、豊見城への想いを語りあいました。我々、商工会青年部とは商売をする人々が集う団体です。商売繁盛する為には、どのようにするべきかを、常に考え、学んでいます。

『店(会社)作りはファン(顧客)作り、ファン(顧客)作りは店(会社)作り』

豊見城が好きな人が増えると、きっと楽しいだろうなあ  
豊見城が好きな人が増えると、豊見城がもっと良くなるだろうなあ  
その日僕達は、これから新しい事を始めていく、ワクワク感で気持ちが高ぶりました。

後日、好きなくなる(させらる)為には、どうすればよいのか? 議論し、ありました。先ずは地域を知る事から始めよう、豊見城市には、歴史、文化、産業と自慢できる事が、とてもたくさんあります。しかし、何から手をつけたらよいのか…と、悩みました。ちょうどその頃、青年部の通年事業『児童絵画コンクール』で募集する「ども達の絵」に、ハーリーの絵が、増え始めていた事に着目しました。地域のことも達に、豊見城のハーリーを、もっと知つて貰うようにしてはどうか? なにげに描いているハーリー大会の絵が、実は地域自慢出来る事なんだよと、気付かせるきっかけになればいいんじゃないかな? このようにして絵本企画が立ち上がりました。

しかし、具体化していくにつれて…「素人に絵本が作れるのか?」「ここも達に読ますならプロにお願いするべきでは?」「本は制作費が高いから無理なのは?」幾多の問題が出てきましたが、難しく考えず、我々が知つている事を伝えよう! かたい『本』と考えず、日常業務で使うPR冊子やパンフを制作するつもりでやってみよう! やはり:自分達が住む地域の歴史で、こども達に伝えていきたいよね! 初めの構想から制作まで二年半と長い時間が経ちましたが、平成二十二年十二月。青年部の手作りの絵本がついに完成しました。

資料収集にあたり上田小学校読み聞かせボランティアの皆様と、豊見城龍船協会の赤瀬秀義事務局長には、大変お世話をになりました。制作にあたり「市民団体活動支援事業補助金」を豊見城市役所の皆様より御支援頂きました。本文監修と相談には、座安小学校読み聞かせボランティアの大城清一さん、琉球新報社の仲原崇夫さん、お二方に御協力頂きました。皆様本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

結びに、豊見城市民皆様の支えで出来上がった手作り絵本『豊見城の王様わんおうそ』頗るくばこの絵本を読んだこども達が、豊見城の歴史文化に興味が沸き、育つた地域に誇りを持てるような大人に成長する、そんな一冊になれれば幸いです。

### 豊見城の王様わんおうそ

～ハーリー由来物語～

企画・青年部まちづくり有志の会

代表 大田正樹

制作・文を書いた人 大田正樹

絵を描いた人 兼島正美樹

発行日・二〇一〇年十二月二十九日

発行所・豊見城市商工会青年部

沖縄県豊見城市字高安三五八一

※九〇一〇二四一

FAX 〇九八一八五〇一〇七六二〇

印刷所・いろは総合印刷

沖縄県豊見城市字高安一番地

※九〇一〇二四一

FAX 〇九八一八五〇一五五四二

\*本書の無断転載・転載複数を禁じます。

\*この絵本のお話しさは、忠実を軸に創作されたフィクションです。  
参考文献

・琉球國由來記／卷十一

・琉球國由來記／卷十二

・琉球國由來記／卷十三

・琉球國由來記／卷十四

・琉球國由來記／卷十五

・琉球國由來記／卷十六

・琉球國由來記／卷十七

・琉球國由來記／卷十八

・琉球國由來記／卷十九

・琉球國由來記／卷二十

・琉球國由來記／卷二十一

・琉球國由來記／卷二十二

・琉球國由來記／卷二十三

・琉球國由來記／卷二十四

・琉球國由來記／卷二十五

・琉球國由來記／卷二十六

・琉球國由來記／卷二十七

・琉球國由來記／卷二十八

・琉球國由來記／卷二十九

・琉球國由來記／卷三十

・琉球國由來記／卷三十一

・琉球國由來記／卷三十二

・琉球國由來記／卷三十三

・琉球國由來記／卷三十四

・琉球國由來記／卷三十五

・琉球國由來記／卷三十六

・琉球國由來記／卷三十七

・琉球國由來記／卷三十八

・琉球國由來記／卷三十九

・琉球國由來記／卷四十

・琉球國由來記／卷四十一

・琉球國由來記／卷四十二

・琉球國由來記／卷四十三

・琉球國由來記／卷四十四

・琉球國由來記／卷四十五

・琉球國由來記／卷四十六

・琉球國由來記／卷四十七

・琉球國由來記／卷四十八

・琉球國由來記／卷四十九

・琉球國由來記／卷五十

・琉球國由來記／卷五十一

・琉球國由來記／卷五十二

・琉球國由來記／卷五十三

・琉球國由來記／卷五十四

・琉球國由來記／卷五十五

・琉球國由來記／卷五十六

・琉球國由來記／卷五十七

・琉球國由來記／卷五十八

・琉球國由來記／卷五十九

・琉球國由來記／卷六十

・琉球國由來記／卷六十一

・琉球國由來記／卷六十二

・琉球國由來記／卷六十三

・琉球國由來記／卷六十四

・琉球國由來記／卷六十五

・琉球國由來記／卷六十六

・琉球國由來記／卷六十七

・琉球國由來記／卷六十八

・琉球國由來記／卷六十九

・琉球國由來記／卷七十

・琉球國由來記／卷七十一

・琉球國由來記／卷七十二

・琉球國由來記／卷七十三

・琉球國由來記／卷七十四

・琉球國由來記／卷七十五

・琉球國由來記／卷七十六

・琉球國由來記／卷七十七

・琉球國由來記／卷七十八

・琉球國由來記／卷七十九

・琉球國由來記／卷八十

・琉球國由來記／卷八十一

・琉球國由來記／卷八十二

・琉球國由來記／卷八十三

・琉球國由來記／卷八十四

・琉球國由來記／卷八十五

・琉球國由來記／卷八十六

・琉球國由來記／卷八十七

・琉球國由來記／卷八十八

・琉球國由來記／卷八十九

・琉球國由來記／卷九十

・琉球國由來記／卷九十一

・琉球國由來記／卷九十二

・琉球國由來記／卷九十三

・琉球國由來記／卷九十四

・琉球國由來記／卷九十五

・琉球國由來記／卷九十六

・琉球國由來記／卷九十七

・琉球國由來記／卷九十八

・琉球國由來記／卷九十九

・琉球國由來記／卷一百

・琉球國由來記／卷一百一

・琉球國由來記／卷一百二

・琉球國由來記／卷一百三

・琉球國由來記／卷一百四

・琉球國由來記／卷一百五

・琉球國由來記／卷一百六

・琉球國由來記／卷一百七

・琉球國由來記／卷一百八

・琉球國由來記／卷一百九

・琉球國由來記／卷一百十

・琉球國由來記／卷一百一十一

・琉球國由來記／卷一百二十二

・琉球國由來記／卷一百三十三

・琉球國由來記／卷一百四十四

・琉球國由來記／卷一百五十五

・琉球國由來記／卷一百六十六

・琉球國由來記／卷一百七十七

・琉球國由來記／卷一百八十八

・琉球國由來記／卷一百九十九

・琉球國由來記／卷二百一十

・琉球國由來記／卷二百二十一

・琉球國由來記／卷二百三十二

・琉球國由來記／卷二百四十三

・琉球國由來記／卷二百五十四

・琉球國由來記／卷二百六十五

・琉球國由來記／卷二百七十六

・琉球國由來記／卷二百八十七

・琉球國由來記／卷二百九十八

・琉球國由來記／卷三百零九

・琉球國由來記／卷三百一十

・琉球國由來記／卷三百一十一

・琉球國由來記／卷三百一十二

・琉球國由來記／卷三百一十三

・琉球國由來記／卷三百一十四

・琉球國由來記／卷三百一十五

・琉球國由來記／卷三百一十六

・琉球國由來記／卷三百一十七

・琉球國由來記／卷三百一十八

・琉球國由來記／卷三百一十九

・琉球國由來記／卷三百二十

・琉球國由來記／卷三百二十一

・琉球國由來記／卷三百二十二

・琉球國由來記／卷三百二十三

・琉球國由來記／卷三百二十四

・琉球國由來記／卷三百二十五

・琉球國由來記／卷三百二十六

・琉球國由來記／卷三百二十七

・琉球國由來記／卷三百二十八

・琉球國由來記／卷三百二十九

・琉球國由來記／卷三百三十

・琉球國由來記／卷三百三十一

・琉球國由來記／卷三百三十二

・琉球國由來記／卷三百三十三

・琉球國由來記／卷三百三十四

・琉球國由來記／卷三百三十五

・琉球國由來記／卷三百三十六

・琉球國由來記／卷三百三十七

・琉球國由來記／卷三百三十八

・琉球國由來記／卷三百三十九

・琉球國由來記／卷三百四十

・琉球國由來記／卷三百四十一

・琉球國由來記／卷三百四十二

・琉球國由來記／卷三百四十三

・琉球國由來記／卷三百四十四

・琉球國由來記／卷三百四十五

・琉球國由來記／卷三百四十六

・琉球國由來記／卷三百四十七

・琉球國由來記／卷三百四十八

・琉球國由來記／卷三百四十九

・琉球國由來記／卷三百五十

・琉球國由來記／卷三百五十一

・琉球國由來記／卷三百五十二

・琉球國由來記／卷三百五十三

・琉球國由來記／卷三百五十四

・琉球國由來記／卷三百五十五

・琉球國由來記／卷三百五十六

・琉球國由來記／卷三百五十七

・琉球國由來記／卷三百五十八

・琉球國由來記／卷三百五十九

・琉球國由來記／卷三百六十

・琉球國由來記／卷三百六十一

・琉球國由來記／卷三百六十二

・琉球國由來記／卷三百六十三

・琉球國由來記／卷三百六十四

・琉球國由來記／卷三百六十五

・琉球國由來記／卷三百六十六

・琉球國由來記／卷三百六十七

・琉球國由來記／卷三百六十八

・琉球國由來記／卷三百六十九

・琉球國由來記／卷三百七十

・琉球國由來記／卷三百八十一

・琉球國由來記／卷三百九十二

・琉球國由來記／卷三百九十三

・琉球國由來記／卷三百九十四

・琉球國由來記／卷三百九十五

・琉球國由來記／卷三百九十六

・琉球國由來記／卷三百九十七

・琉球國由來記／卷三百九十八

・琉球國由來記／卷三百九十九

・琉球國由來記／卷三百六十

・琉球國由來記／卷三百六十一

・琉球國由來記／卷三百六十二

・琉球國由來記／卷三百六十三

・琉球國由來記／卷三百六十四

・琉球國由來記／卷三百六十五

・琉球國由來記／卷三百六十六

・琉球國由來記／卷三百六十七

・琉球國由來記／卷三百六十八

・琉球國由來記／卷三百六十九

・琉球國由來記／卷三百七十

・琉球國由來記／卷三百八十一

・琉球國由來記／卷三百九十二

・琉球國由來記／卷三百九十三

・琉球國由來記／卷三百九十四

・琉球國由來記／卷三百九十五

・琉球國由來記／卷三百九十六

・琉球國由來記／卷三百九十七

・琉球國由來記／卷三百九十八

・琉球國由來記／卷三百九十九

・琉球國由來記／卷三百六十

・琉球國由來記／卷三百六十一

・琉球國由來記／卷三百六十二

・琉球國由來記／卷三百六十三

・琉球國由來記／卷三百六十四

・琉球國由來記／卷三百六十五

・琉球國由來記／卷三百六十六

・琉球國由來記／卷三百六十七

・琉球國由來記／卷三百六十八

・琉球國由來記／卷三百六十九

・琉球國由來記／卷三百七十

・琉球國由來記／卷三百八十一

・琉球國由來記／卷三百九十二

・琉球國由來記／卷三百九十三

・琉球國由來記／卷三百九十四

・琉球國由來記／卷三百九十五

・琉球國由來記／卷三百九十六